

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2004-118584(P2004-118584A)

【公開日】平成16年4月15日(2004.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-015

【出願番号】特願2002-281855(P2002-281855)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 1/00

G 06 F 17/60

【F I】

G 06 F 9/06 6 6 0 C

G 06 F 17/60 1 4 2

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月6日(2005.5.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ライセンス管理装置、方法及びプログラム

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータを用いてソフトウェアライセンスを管理するためのライセンス管理方法であって、

前記コンピュータが、ソフトウェアライセンスに関するライセンス情報と、情報処理装置で使用されているソフトウェアに関する使用ソフトウェア情報と、を記憶手段に記憶するステップと、

前記コンピュータが、前記記憶手段に記憶されているライセンス情報に基づいて、ソフトウェア毎のライセンス数を計数する計数ステップと、

前記コンピュータが、前記記憶手段に記憶されている使用ソフトウェア情報に基づいて、ソフトウェア毎の使用数を計数する使用計数ステップと、

前記コンピュータが、ソフトウェア毎に前記ライセンス数と前記使用数とを比較し、ライセンス数が不足しているか否かを判別し、判別結果に基づいてライセンス数が不足していることを示す提示を行うチェックステップと、

を備えることを特徴とするライセンス管理方法。

【請求項2】

前記コンピュータは、複数の情報処理装置とネットワークを介して接続されており、

前記コンピュータが、前記情報処理装置からネットワークを介して前記情報処理装置が使用しているソフトウェアに関する使用ソフトウェア情報を取得する取得ステップ、

を備えることを特徴とする請求項1に記載のライセンス管理方法。

【請求項3】

前記チェックステップは、ソフトウェア毎に前記ライセンス数と前記使用数を比較し、

前記使用数が前記ライセンス数の近傍に達したソフトウェアがあるか否かを判別し、該当するソフトウェアを検出した場合、検出内容を提示するステップをさらに備える、ことを特徴とする請求項1又は2に記載のライセンス管理方法。

【請求項4】

前記チェックステップは、前記判別結果に基づいて、ライセンスを購入するための発注用データを生成し、当該発注用データを提示する、

ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のライセンス管理方法。

【請求項5】

前記使用ソフトウェア情報は、情報処理装置におけるソフトウェアの登録名の情報を含み、

前記記憶手段には、所定のソフトウェアについて、ソフトウェアの登録名に関連するキーワードを含む商品群情報を記憶され、

前記使用計数ステップは、前記商品群情報を参照し、使用ソフトウェア情報に含まれるソフトウェアの登録名が前記商品群情報における前記キーワードに合致するような前記使用ソフトウェア情報を前記記憶手段から抽出し、抽出した使用ソフトウェア情報について、ソフトウェア毎の使用数を計数する、

ことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のライセンス管理方法。

【請求項6】

前記ライセンス情報と前記使用ソフトウェア情報は、ソフトウェアのバージョン情報を含み、

前記計数ステップは、各ソフトウェアのライセンス数をバージョン毎に計数し、

前記使用計数ステップは、各ソフトウェアの使用数をバージョン毎に計数する、

ことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のライセンス管理方法。

【請求項7】

ソフトウェアライセンスを管理するためのライセンス管理装置であって、

ソフトウェアライセンスに関するライセンス情報と、情報処理装置で使用されているソフトウェアに関する使用ソフトウェア情報と、を記憶した記憶手段と、

前記記憶手段に記憶されているライセンス情報に基づいて、ソフトウェア毎のライセンス数を計数する計数手段と、

前記記憶手段に記憶される使用ソフトウェア情報に基づいて、ソフトウェア毎の使用数を計数する使用数計数手段と、

ソフトウェア毎に前記ライセンス数と前記使用数を比較し、ライセンス数が不足しているか否かを判別し、判別結果に基づいてライセンス数が不足していることを示す提示を行うチェック手段と、

を備えることを特徴とするライセンス管理装置。

【請求項8】

請求項1乃至6のいずれか1項に記載のライセンス管理方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、会社等の組織が保有するソフトウェアのライセンスを管理し、適正に利用するためのライセンス管理装置等に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記実状に鑑みてなされたものであり、組織で使用するソフトウェアのライセンス管理を効率良く行うことができるライセンス管理装置等を提供することを目的とする。

また、ソフトウェアのライセンス管理を正確に行うことができるライセンス管理装置等を提供することを他の目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、この発明の第1の観点に係るライセンス管理方法は、
コンピュータを用いてソフトウェアライセンスを管理するためのライセンス管理方法であって、

前記コンピュータが、ソフトウェアライセンスに関するライセンス情報と、情報処理装置で使用されているソフトウェアに関する使用ソフトウェア情報と、を記憶手段に記憶するステップと、

前記コンピュータが、前記記憶手段に記憶されているライセンス情報に基づいて、ソフトウェア毎のライセンス数を計数する計数ステップと、

前記コンピュータが、前記記憶手段に記憶されている使用ソフトウェア情報に基づいて、ソフトウェア毎の使用数を計数する使用計数ステップと、

前記コンピュータが、ソフトウェア毎に前記ライセンス数と前記使用数とを比較し、ライセンス数が不足しているか否かを判別し、判別結果に基づいてライセンス数が不足していることを示す提示を行うチェックステップと、

を備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記コンピュータは、複数の情報処理装置とネットワークを介して接続されていてもよ
く、

前記コンピュータが、前記情報処理装置からネットワークを介して前記情報処理装置が
使用しているソフトウェアに関する使用ソフトウェア情報を取得する取得ステップ、
を備えてよい。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記チェックステップは、ソフトウェア毎に前記ライセンス数と前記使用数を比較し、
前記使用数が前記ライセンス数の近傍に達したソフトウェアがあるか否かを判別し、該当
するソフトウェアを検出した場合、検出内容を提示するステップをさらに備えてよい。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記チェックステップは、前記判別結果に基づいて、ライセンスを購入するための発注用データを生成し、当該発注用データを提示してもよい。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記使用ソフトウェア情報は、情報処理装置におけるソフトウェアの登録名の情報を含んでもよく、

前記記憶手段には、所定のソフトウェアについて、ソフトウェアの登録名に関連するキーワードを含む商品群情報が記憶されてもよく、

前記使用計数ステップは、前記商品群情報を参照し、使用ソフトウェア情報に含まれるソフトウェアの登録名が前記商品群情報における前記キーワードに合致するような前記使用ソフトウェア情報を前記記憶手段から抽出し、抽出した使用ソフトウェア情報について、ソフトウェア毎の使用数を計数してもよい。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

前記ライセンス情報と前記使用ソフトウェア情報は、ソフトウェアのバージョン情報を含んでもよく、

前記計数ステップは、各ソフトウェアのライセンス数をバージョン毎に計数してもよく、

前記使用計数ステップは、各ソフトウェアの使用数をバージョン毎に計数してもよい。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

この発明の第2の観点に係るライセンス管理装置は、

ソフトウェアライセンスを管理するためのライセンス管理装置であって、

ソフトウェアライセンスに関するライセンス情報と、情報処理装置で使用されているソフトウェアに関する使用ソフトウェア情報と、を記憶した記憶手段と、

前記記憶手段に記憶されているライセンス情報に基づいて、ソフトウェア毎のライセンス数を計数する計数手段と、

前記記憶手段に記憶される使用ソフトウェア情報に基づいて、ソフトウェア毎の使用数を計数する使用数計数手段と、

ソフトウェア毎に前記ライセンス数と前記使用数を比較し、ライセンス数が不足しているか否かを判別し、判別結果に基づいてライセンス数が不足していることを示す提示を行うチェック手段と、

を備えることを特徴とする。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

この発明の第3の観点に係るプログラムは、

上記のライセンス管理方法をコンピュータに実行させることを特徴とする。